

韓国文化論Ⅰ

科目ナンバリング LIG-101
選択 2単位

白 恩正

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、韓国社会への深い理解を導くことを目的とする。「韓国の社会と文化Ⅰ・Ⅱ」に続き、春期の「韓国の社会と文化Ⅲ」では、韓国の近現代の中で重要とされるテーマを選定し、一歩踏み込んだ視点を提供する。授業は基本的に講義形式になるが、映画やドラマ、ドキュメンタリー等の映像資料も適宜利用する。なお、秋期の「韓国の社会と文化Ⅳ」と合わせて受講することをお勧めする。

2. 授業の到達目標

- ①韓国の歴史・社会・文化について基礎的な事を理解する。
- ②韓国を客観的に観察できるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(出席、小テスト、課題など):50% 期末試験:50%
(総合評価60点以上を合格点とする。)

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用せず、毎回の授業資料をLMSにて配布する。

5. 準備学修の内容

前回の授業内容をしっかり復習すること。

6. その他履修上の注意事項

- ①欠席をしないこと(3分の1以上欠席した場合、原則として評価の対象としない。)
- ②積極的に授業に参加すること。
- ③期末試験未受験の場合、自動的に「不合格」となる。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 韓国の歴史の概観
- 【第3回】 朝鮮通信使と文禄・慶長の役(「交流」の歴史と「戦争」の歴史)
- 【第4回】 伊藤博文と安重根、安重根と千葉十七
- 【第5回】 「三・一運動」から「キャンドル革命」まで
- 【第6回】 「十五年戦争期の朝鮮
- 【第7回】 映像資料(『道一白磁の人』浅川巧と李青林
- 【第8回】 中間テスト
- 【第9回】 終戦直後の日韓の教育
- 【第10回】 韓国の教育
- 【第11回】 コリアンディアスポラ①
- 【第12回】 コリアンディアスポラ②
- 【第13回】 韓国の人口変化による社会の変化
- 【第14回】 総まとめ
- 【第15回】 期末試験とまとめ

*進度や内容はあくまで予定であり、変更されることがある。